

長崎市議会議員



いつわ清隆

だより 第56号

平成28年4月 発行責任者：五輪 清隆 編集責任者：板山 孝宏 長崎市水の浦1の1 TEL861-6032



自席より多くの傍聴者の中、再質問を行いました(2月24日)

桜の花も満開に咲きそらい、爽やかな季節となりましたが、皆さまにおかれましては益々ご健勝にて、ご活躍の事とお喜び申し上げます。

二度目の会派代表質問を行いました

2月19日から開催された平成28年度2月議会の本会議において、議員になっ

て二度目となる会派(市民クラブ・11名)を代表しての質問を行いました。

例年、代表質問は新年度の当初予算を審議をする2月議会で行っていますが、個人質問は開会日に抽選で順番が決まり持ち時間は最大60分ありますが、代表質問は持ち時間が90分となり、会派を代表としての質問となるため、長崎市の重点課題を取り上げました。

今回の質問は、長崎の将来の「まちづくり」や「市民の生活環境整備」について市長・関係理事と質疑を交わしました。

市民が認識している課題と行政の認識と意見が合わない部分が多くありましたが、長崎を元気に活性化させようという思いは同じでありました。(主な質疑内容は2・3ページに記載しています)

定住人口減少の歯止め

長崎市の最重要課題は何かと聞かれ「定住人口の減少策」と答えます、何故なら25年後には人口は約10万人減少し、高齢者は増加・若い働き手の減少により、税収の収入は減少して市民サービスに大きく影響するからです、3月1日に出身高校の卒業式に参列させていただきました。卒業生の数は私が卒業した時と比べ約半数になっており、少子化を実感する卒業式でした。

また、就職先について、県内・市内を希望する生徒・保護者の方は多くいらっしやると思いますが、生徒の半数は県外

市民の声を議会で反映します

行政や地域の政策課題が山積していますが改善に努めると共に、市民の代表の名に恥じないよう、諸活動を積極的に行っていく決意です、皆様方にはさらなるご指導・ご支援をよろしくお願い致します。

長崎市議会議員 五輪 清隆

環境経済委員会・定住人口対策特別委員会に所属

2月19日に開催されました本会議で、平成28年度の常任委員会の改選が行われ、環境経済委員会に所属することになりました。今後予想される議案では長崎駅西側の市有地の地域交流拠点施設など大きな課題がありますので、事前調査などを十分行い自分の意見をしっかりと委員会でも反映して行きます。

また、特別委員会は定住人口対策特別委員会に所属することになりましたが、非常に難しい特別委員会であり、避けて通ることが出来ない問題でありますので、現状を十分に検証して人口減少策に取り組みます。

平成28年度予算・79議案を可決!

総額約2,170億(-会計予算)

平成28年2月議会



長崎市議会・平成28年2月定例会は、2月19日(金)に開会し、3月11日(金)に閉会しました。

新年度一般会計当初予算で、長崎原爆の日(8月9日)の平和祈念式典の「平和の誓い」を担当する被爆者代表の人数問題をめぐり、海外から招くことを想定した旅費138万円を減額したため、約2,169億6,900万円と79議案を可決・同意しました。

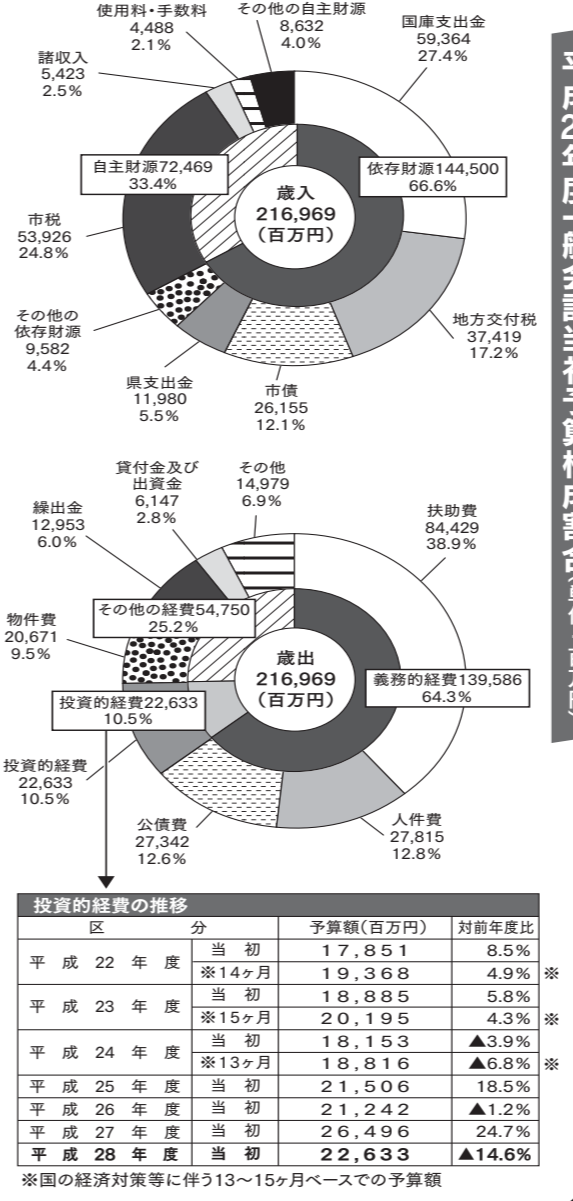
また、長崎駅周辺再整備対策・観光客受け入れ対策・定住人口対策特別委員会を設置して、1年間かけて各特別委員会と協議することになりました。

◆「明治日本の産業革命遺産」推進費

高島炭鉱(高島炭鉱、端島炭鉱)等のアクションプランを策定するとともに、高島炭鉱(高島、端島炭鉱)整備基金の充実やインフォ

メーション施設の整備等により世界遺産価値の理解促進を図る。

◆長崎駅周辺エリアデザイン検討費……1,970万円
長崎駅舎及び駅前広場等のデザイン検討を行う。



◆都市計画費負担金

県が行うJR長崎本線連続立体交差事業に対する負担金。

◆がん予防対策費

◆新西工場建設事業費(ごみ焼却施設建設)

◆桜町駐車場施設整備事業費

◆がん予防対策費

◆新西工場建設事業費(ごみ焼却施設建設)

ご相談はお気軽に!



k.itsuwa



建設中のゴミ焼却施設(神の島地区)

2月24日 会派代表質問を行う!

1. 市長の政治姿勢について
2. 上下水道事業について
3. 長崎さるく10年目の特徴について
4. 交通対策について
5. 各種選挙について
6. 国民健康保険証について
7. 大雪による農業被害と今後の対応について

平成28年2月議会は、2月24日(水)から29日(月)に各会派より7名の代表質問、6名の個人質問が行われ、私は2月24日に13時から14時30分(90分)まで市民クラブを代表して7項目について市長・関係理事者と質疑を行いました。

主な質疑内容

1. 市長の政治姿勢について

①定住人口減少の具体的な歯止め策

②長崎市の人口は、平成27年は約42万9千人で、25年後の平成52年では人口33万1千人となり約10万人減少する中で、若い人材の働き手が減少することは市民税・法人税の収入減少、高齢化が進む事に伴い、市民へのサービスの低下が予想されると思うが、25年後、長崎市の人口・年齢構成が予測のように推移した時にどのような問題・課題が想定されているのか伺います。

③将来の長崎市の人口が予測するように推移した場合、若年労働者の不足や消費支出の縮小のほか、少子化による学級数の減や学校統合、高齢化による医療・介護費用の増加や税収の減による行政サービスの低下などの課題が想定されます。

④大型事業の進捗と課題

⑤平成25年11月にコンベンション施設である長崎MICセンター(仮称)整備の検討報告で市全体の財政状況と、今後10年間で想定される



跡地活用が検討されている県庁舎

主な10の大型事業について総事業費(約865億円)が発表されたが主な事業の進捗状況について伺います。

⑥新たな文化施設の建設は、市民や文化団体の皆さんのため、建設場所の方針を一刻も早く決定する必要があるため、県庁舎跡地活用に係る県の検討状況を見極めながら、県との協議を継続して進めていくべきか、新たな文化施設の整備場所を現市庁舎跡地と進めるのか、市としての結論を年度内までに出したいと考えています。

⑦上下水道事業について

⑧水道管のインフラ整備

⑨昨年11月に発生した、水道管破損事故の原因と今後の対応策について伺います。

⑩昨年11月に発生した破損事故を受け、鹿尾橋から三

菱重工香焼工場入口付近までの区間について、漏水確認の音聴調査を予定より前倒して昨年12月中旬までに実施すると共に、本管に付属している施設の緊急点検を実施し、異常がないことを確認してあります。また、市内全域の幹線道路内の布設後40年以上経過した幹線管路約15kmについても、3月末までに音聴調査や緊急点検を行うこととしており、現時点の作業完了区間では異常がないことを確認してあります。老朽管の更新は、平成25年度から29年度までの5年間で総額80億円の予算で実施していますが、今回の破損事故を踏まえ、更新の優先順位を事故時の交通面での社会的影響の大きさをより適正に反映した評価となるように見直しします。

⑪下水汚泥処理プラントの実証試験の進捗

⑫平成23年3月に国土交通省の下水道革新的技術事業へ応募して採用され、現在、東部下処理場で「下水汚泥処理プラント」の実証試験が行われているが成果と他都市から引き合いはないのか伺います。



東部下処理場の「下水汚泥処理プラント」

3. 長崎さるく10年目の特徴について

⑬今年「さるく観光」が始まって10周年の記念の年であるが、長崎の観光の目玉の一つであり、10年目の特徴

再質問

⑭今回の路面電車の脱輪事故で多くの市民の方々に影響が出ているが、電車の沿線の自治会・商店街・病院・学校に対しての今後の運行計画の周知は行わないのか。

⑮再回答

⑯早急に周知を図ります。

5. 各種選挙について

⑰投票率低下対策

⑱近年の選挙の投票率は50%に届かない状況でありますが、投票率を上げる為の検証と具体的な取り組みについて伺います。

⑲全体の投票率は低下しているにもかかわらず、投票者数に占める割合の推移を見ると、期日前投票所の割合が年々増加しています。昨年の市議会議員選挙では、投票者の約4分の1が期日前投票を行っていました。

⑳若い世代の投票率向上策として、期日前投票所を今年の参議院議員選挙から長崎大学に設置します。

㉑選挙権年齢18歳への対応

㉒今年施行されます参議院議員選挙から選挙権年齢が18歳以上へと引き下がる予定ですが、どのような対策を考えているのか伺います。

6. 国民健康保険証について

⑳昨年8月から国民健康保健証は、同居者全員が記載されたものから、国民健康保険者全員へ名刺サイズのコンパクトなカード式に変更されましたが、破損防止策として紙製からプラスチック製に変更できないか伺います。

㉑平成27年度に紙を材質とした保険証を15万2千枚作成し、費用は約270万円です。1枚当たりの単価は約18円で、プラスチック製へ変更した場合、平成27年度と同じ枚数を作成すると約670万円と見込まれます。また、保健証打ち出し用の機器の導入などの対応であることから、本庁・

支所および行政センターへの機器の導入に係る初期投資費用として約6000万円が見込まれるのでプラスチック製への変更は厳しい状況です。

7. 大雪による農業被害と今後の対応について

㉒今年1月24日から25日にかけて、過去経験したことがない17cmの大雪とマインス4度を超える異常低温により、びわの寒害をはじめ長崎市内各地で農作物の被害が発生しております。私も2月17日に同僚議員と現地に出向き被害状況を生産者に話を聞きました。農業は自然との戦いであるので是非共、農業者がやる気が出るよう行政として最大の支援をお願いしたい。



大雪による被害を受けたビニールハウス(琴海町)

⑳次(10年)に繋がる持続可能な運営体制への見直しも必要となっており、「コースの見直し」を図ります。通さるくの定時出発は、現在、平日および金・土・日・祝日に設定してありますが、平日は設定の半分以上が参加者が無く、金・土・日・祝日に参加者の81%が集中している状況です。そのため、定時出発については、金・土・日・祝日および繁忙期の平日のみの設定とします。

㉑また、観光客にとって、コースが多すぎて選びにくいこと、通年基本の26コースのうち、人気上位7コースに参加者が83%と集中する傾向にあることから、人気上位7コースに絞り込み、これに旬の世界遺産2コース、イベント時等の期間限定の7コースを加え、16コースを設定します。

4. 交通対策について

㉒路面電車脱線事故の原因と運行再開時期

㉓昨年、10月11日の午後9時30分ごろ、蛸茶屋発・赤迫行きの長崎電気軌道の路面電車が公会堂前のカーブ付近で脱線事故が発生し、現在も長崎駅から公会堂前間が運休



2月29日より赤迫発・蛸茶屋行線は運行しています